

文部科学省の調査によると、2006年度に全国の小中高校が把握したいじめの件数は、約12万5000件に上り、その中にはインターネット掲示板に悪口を書き込むなど、ネットを使ったいじめが約4900件あったことが分かりました。今問題の、いわゆる「学校裏サイト」は、在校生などが、主に情報交換等の手段としてしているものですが、中には匿

ネットいじめ、用心

名で友人の悪口を言い合ったり、うわさ話を流したりするケースがあります。学校側が気付いて閉鎖させても、また別のサイトが立ち上がる、という状況だそうですね。

今後「ネット上のいじめ」の拡大が懸念されています。ネット上でのルールをきちんと守るための家庭でのしつけと、学校での教育が必要ですね。

防犯一口メモ